

湛水土中（カルパー）直播栽培特報 第3号

平成30年6月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

～ J A 富山市米品質向上生産運動展開中～

本年は、平年より播種後の日射が少なく、降水量が多かったため、苗立本数は平年よりやや少なくなりましたが、その後は概ね順調に生育しています。

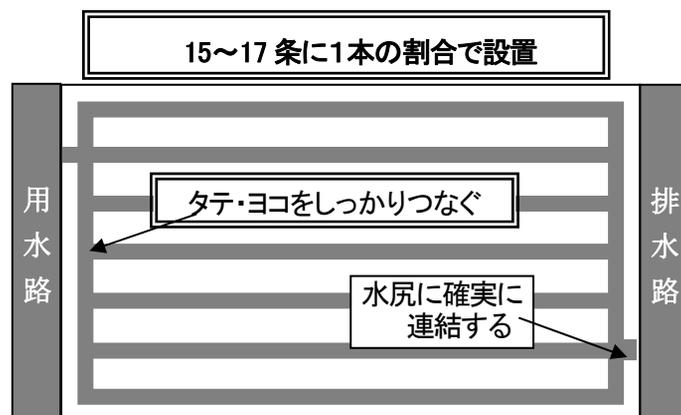
今後、茎数は急激に増加することが予想されます。早急に『溝掘り』を行いましょう。また、『中干し』は遅れずに実施し、稲体および根の健全化を図りましょう。

溝掘り

○中干しに入る前に必ず溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高めましょう。

＜溝掘りのポイント＞

- ・形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後、5mの間隔を目安に溝を掘る。
- ・溝と水尻は確実に連結する。
- ・水の切れないほ場では設置本数を増やす。



中干し

○直播は移植に比べ分けつが発生しやすいので、遅れず実施しましょう。

○中干しの開始時期は、1㎡当たり茎数が320本 程度になった頃（1m間の茎数が100本程度）です。

○中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す間断かん水を行いましょう。



中干し開始時期の生育量

病害虫防除

○葉いもち病の発生を防止するため、予防粒剤を散布しましょう。

散布時期	薬剤名	10a 当たり使用量	備考
6月15日頃	オリゼメート1キログラム粒剤	1kg	湛水状態（水深3～5cm）で散布し、散布後4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない。

○今年もカメムシ類の多発が懸念されます。畦畔や雑草地での増殖を抑えるため、草刈りを徹底しましょう。

雑草防除

○藻や表層はく離が発生しているほ場では、水の入れ換えを行いましょう。

◎雑草が残った場合は、下表を参考にしながら、草種に応じて除草剤を施用しましょう。

雑草の種類	使用除草剤	10a 当たり使用量	使用時期	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー1キログラム粒剤	1.5 kg	播種後25日～ノビエ4葉期（但し収穫30日前まで）	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャーEW	100mL (希釈水量:25～100L)	播種後10日～ノビエ5葉期（但し収穫30日前まで）	雑草茎葉部に十分に薬剤が付着するように散布する（落水～浅水状態で散布）。展着剤を加用する。
ノビエと広葉雑草	クリンチャーバスME液剤	1,000mL (希釈水量:70～100L)	播種後10日～ノビエ5葉期（但し収穫50日前まで）	落水状態で散布し、その後3～4日間は入水・落水をしない。展着剤は加用しない。
	ワイドアタックSC	100mL (希釈水量:100L)	イネ3.0葉期～ノビエ5葉期（但し収穫30日前まで）	落水状態で散布し、その後3～4日間は入水・落水をしない。展着剤は加用しない。
広葉のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3.0葉期～入水50日後（但し収穫60日前まで）	雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700mL (希釈水量:70～100L)	播種後35～50日（但し収穫50日前まで）	落水して雑草が露出する状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。